

2016年11月30日

関係者各位

株式会社自然エネルギー市民ファンド

「富岡復興ソーラープロジェクト」起工のご報告

株式会社自然エネルギー市民ファンド(以下「当社」)が募集業務を行った「福島富岡復興グリーンファンド」(以下「グリーンファンド」)に関わる事業について、事業主体である一般社団法人富岡復興ソーラー(代表遠藤陽子)が起工式を行ったことをご報告いたします。

「富岡復興ソーラープロジェクト」は、いまだ全町避難が続く福島県双葉郡富岡町で住民主導による大規模太陽光発電を行うもので、事業規模は住民主導では他に類を見ない総出力約33MWです。さらに売電収益を活用し、高齢者の送迎サービス等の福祉支援や、次世代を担う農家への暫時的な農業支援といった復興支援を展開していくことを目的とし、避難住民自らが復興と自立を目指す試みとして計画が進んでおります。

また資金調達においては、大手金融機関からの融資等に加えて市民ファンドの活用もなされ、当社はその募集業務を担いました。なおグリーンファンドには多数のお申し込みを頂き、10月31日をもって募集を終了しております。

過日の起工式は11月29日(火)、富岡町の事業用地内において開催され、着工に先立ち工事の安全成就を祈願致しました。今後、2018年6月の竣工を目指し本格的な建設工事が開始されます。

記

【起工式の概要(開催済み)】

開催日時	2016年11月29日(火) 10時30分~12時00分
場所	福島県双葉郡富岡町大字本岡字清水前332番地周辺
説明者	一般社団法人富岡復興ソーラー 代表理事 遠藤陽子 富岡復興ソーラー合同会社 職務執行者 小峯充史
設計・施工	株式会社日立製作所

【本事業の特徴】

- ✓ 原発被災地域において放射性物質汚染により使えなくなってしまった農地を有効利用し、地権者を中心とする地域住民の生活再建支援、次世代担う住民の自立的な生活の支援を目的に、住民が主体となって立ち上げた太陽光発電事業として、国内最大規模の事業である点。
- ✓ 大企業による大企業の営利のための事業ではなく、地域住民による原発被災地域復興推進のための事業である点。
- ✓ 発電所建設資金の一部を、全国の市民の皆さまからのご支援・ご声援である市民出資により調達している点。

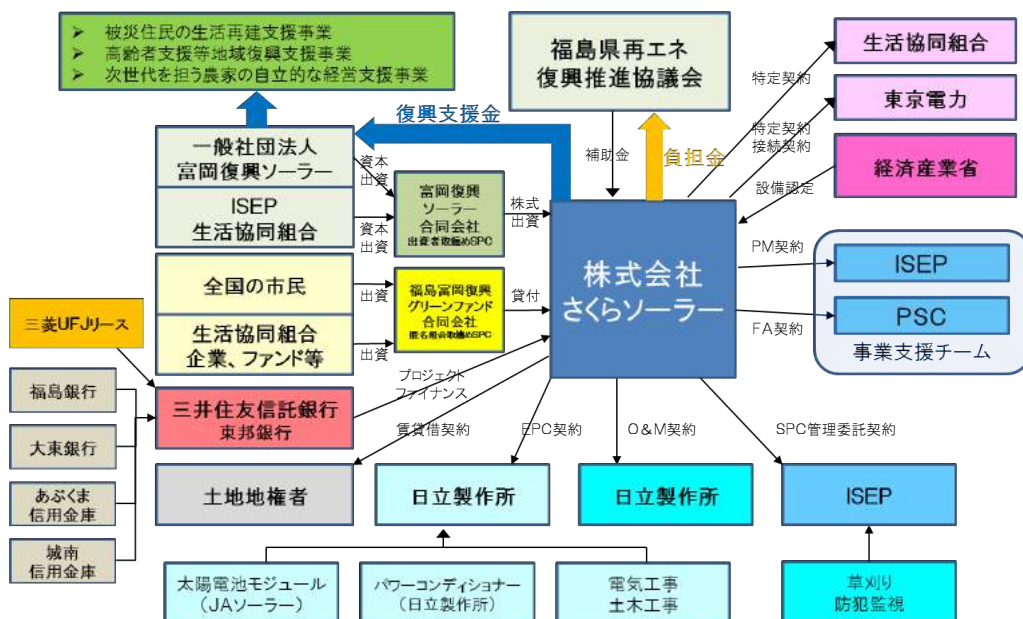


- ✓ 自治体やスポンサー企業の信用力に依拠せず、純粋に事業のキャッシュフローにのみ依拠したプロジェクトファイナンスである点。
- ✓ 福島県内の多くの金融機関から成るシンジケート団を組成している点。

【事業概要】

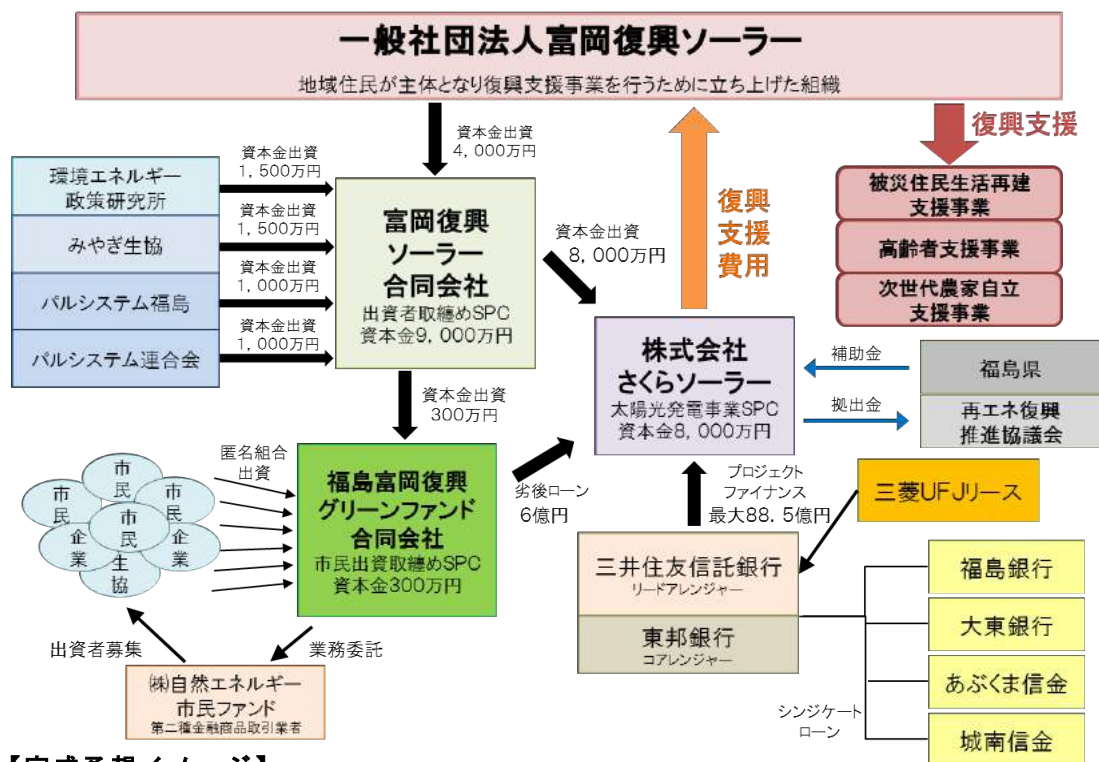
項目	内容
事業用地	福島県双葉郡富岡町大字上手岡字高津戸、大字本岡字清水前
事業用地現況・面積	農業振興地区区域内農用地(田)・約34万㎡
発電出力	太陽電池モジュール出力32, 839kW、PCS出力27, 720kW
総事業費	約92億円
期間	工事期間・・・2016年11月～2018年3月 運転期間・・・2018年4月～2038年3月(20年間)
資金調達	三井住友信託銀行をリードアレンジャーとするプロジェクトファイナンス 全国の市民、法人(生協を含む)からの出資
設備仕様	太陽電池モジュール・・・JAソーラー PCS・・・日立製作所
工事・保守	EPC・・・日立製作所 O&M・・・日立製作所 SPC管理・・・ISEP
事業目的	脱原発社会の創造 原発事故被災住民の生活再建支援 次世代を担う住民の地域での生活自立支援

【事業スキーム】





【資金調達スキーム】



【完成予想イメージ】



以上

■このプレスリリースに関する問い合わせ

株式会社自然エネルギー市民ファンド（担当：加藤秀生）

TEL：03-5942-4144 FAX：03-5942-4134